

(様式例)

## 令和7年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立大森東中学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・タブレットやホワイトボードを用いた、話し合い・発表の活動を行うことで、課題解決能力、言語表現力の育成をすることができた。
- ・単元のまとめを文章で表現させることで、思考力、表現力を育成することができた。
- ・調べ学習と発表活動を行うことで、思考力、判断力、表現力を育成することができ、主体性をもって学習に取り組む機会を得られた。

#### (2) 課題

- ・基本的な知識の定着がされていないため、知識・技能のみならず思考・判断・表現のポイントも下がってしまっている。知識の定着を丁寧に取り組む必要がある。
- ・記述式の問題の正答率が著しく低い。授業の中で自らの考えを他者に伝えるために文章にする取り組みを行うなど、対応が必要である。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年	目標値▽14.5		
第2学年	目標値▽7.6	目標値▽8.3 (第1学年時)	
第3学年	目標値▽11.3	目標値▽9.7 (第2学年時)	目標値▽7.1 (第1学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値▽14.3 実験器具の使い方や実験操作に著しい課題がある。	目標値▽14.8 実験結果から考察したり、それらを記述することに課題が見られる。	指示されたこと守ることができていない。人の話をよく聞いて取り組むなど、基本的な授業態度に課題がある。

##### ② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値▽7.8 植物に関する分野が目標値を上回っている。 水溶液の性質に関する設問で目標値を下回った。	目標値▽7.4 科学的分野の関する設問が全体的に低い値を示す 物質の成り立ちに関する設問で目標値を下回った。	気体の性質に関する設問で目標値を下回った。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値▽14.2 物質の成り立ちに関する設問で目標値を下回った。	目標値▽6.8 電流に関する設問が低い値を示す。 $\Omega$ の法則のグラフに関する設問で目標値を下回った。	電流に関する設問で目標値を下回った。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実験器具や実験操作にどのような意味があるのかを理解させる。また、繰り返し実践する機会をつくり、定着できるようにする。	実験結果からわかること話合わせたり、実験手順を自ら考えて取り組むなど、他者と関わりながら考える場面をつくる。	基本的な授業態度を身につかせる。また、テストに向けてどのように準備をするかなど、自己分析する場面を繰り返す。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基本的な実験に取り組ませるとともに、必要に応じて器具の使用法の技能指導を個別に行い、観察実験の技能を身に付けさせる。	きめ細やかなノート指導と形成的評価を行い、思考力・判断力・表現力を育てる。 プリント配布し、表現力の態度を育てる	授業の振り返りを行い、自らの学習を調整しようとする態度を育てる。 家庭学習の習慣を身につけさせる。 普段の生活と科学的な経験を結びつけるよう工夫する。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観察実験を重視する。問題解決などの目的意識をもった上で観察実験に取り組ませ、観察実験の技能を育てる。 自ら判断し、実験できるように道具の準備から自主的に行動させる。	主体的に考える時間を設定し科学的な思考力の育成を図る。 タブレットを用いた意見交換活動を行い、思考力・判断力・表現力の育成を図る。 調べ学習を学期に1回設定し、思考力・判断力・表現力の育成を図る。	小テストを定期的に行い、粘り強い取り組みを行おうとする態度を育てる。 自らの学習を調整しようとする態度を育てる。 1, 2学年の教材に適宜取り組ませ、家庭学習の習慣化を目指す。